祭事暦

平成二十四年七月～二十五年六月

毎月　一日　月次祭

八月　三日　四日　五日　恒例大祭

九月　一日　風祭

九月　十日　（旧七月二十四日）
諏訪祭宵祭
盆踊り納涼祭

九月　十一日　諏訪祭（祭典なし）

十月　十五日　大国大祭・武尊祭

十一月　二三日　新嘗祭

十二月　一三日（旧十一月一日）
神迎祭

十二月　二三日　天長節祭

十二月　三一日　大祓

一月　一日　歳旦祭

二月　一一日　紀元節祭

二月　二五日　天神祭

四月　七日　例大祭　宵祭

四月　八日　例大祭

六月　三十日　夏越大祓

その他の御祈祷のご案内。

殿内祭典（内祭）
初宮詣　七五三詣　成人式
厄除け　方位除け　六三除け
車祓（交通安全）　病気平癒
安産祈願　家内安全　商売繁盛
合格祈願　結婚式　算賀祭等

出張祭典（外祭）
地鎮祭　起工式　上棟祭
竣工祭　井戸埋祭　神葬祭
家屋取壊感謝祭等

平成二十四年八月三・四・五日
◇祇園祭執行について◇

左記の通り、祇園祭についての日程等をご案内申し上げます。

一、日程

八月三日(金)
午前七時二十分　神輿奉遷・神輿発幸祭　榛名神社
午前八時　車にて渡御　榛名神社→薄根町→清水町→榛名町→氏子区域
〃十時三十分頃　西倉内町→東倉内町→材木町→西原新町→東原新町　氏子区域
午後一時頃　上原町→桜町→高橋場町→柳町　氏子区域
午後三時　柳町祭典事務所着　柳町祭典事務所
午後三時三十分　奉仕団により渡御、柳町を出発
午後六時　仮宮着御祭　仮宮

八月四日(土)
午後五時　恒例大祭　仮宮

八月五日(日)
午後四時三十分頃　還幸祭　仮宮
午後五時　奉仕団により、還御
午後八時　須賀神社神輿との競演　市役所前広場
午後十時　宮入り・本殿着御祭　榛名神社

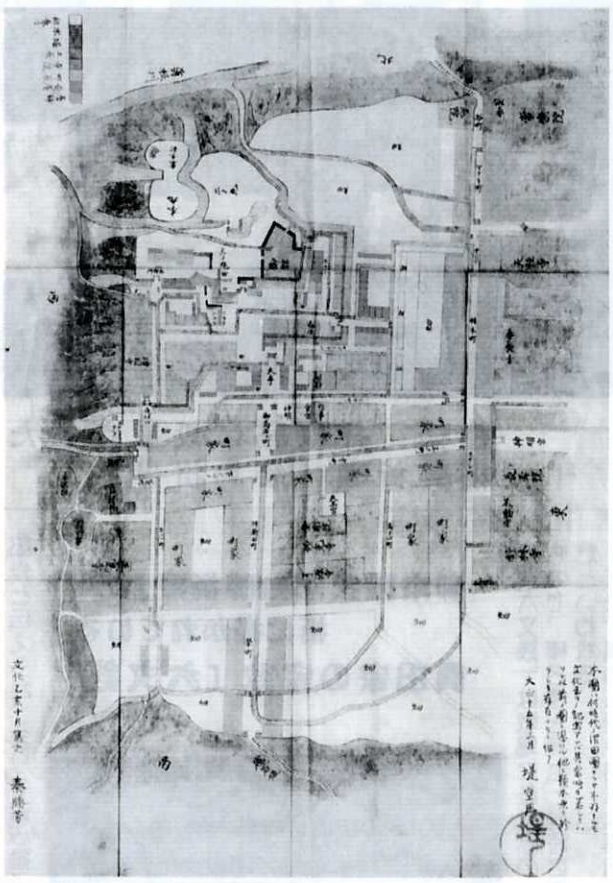
※本年度当番町　柳町（来年度当番町　西原新町）
※仮宮～材木町神明宮南側の駐車場

研修旅行報告　平成23年11月17日～19日

研修旅行日程
一日目…江・浅井三姉妹博覧会他、長浜ロイヤルホテル泊
二日目…竹生島クルーズ　都久夫須麻神社　正式参拝
　　彦根城・豊国神社　京都　東山閣泊
三日目…賀茂御祖神社正式参拝　北野天満宮・嵐山
清水寺のライトアップも見学することができ、国宝にもすぐ近くで触れることができたり、世界遺産、賀茂御祖神社も、ていねいに説明していただくことができ、有意義な研修となりました。

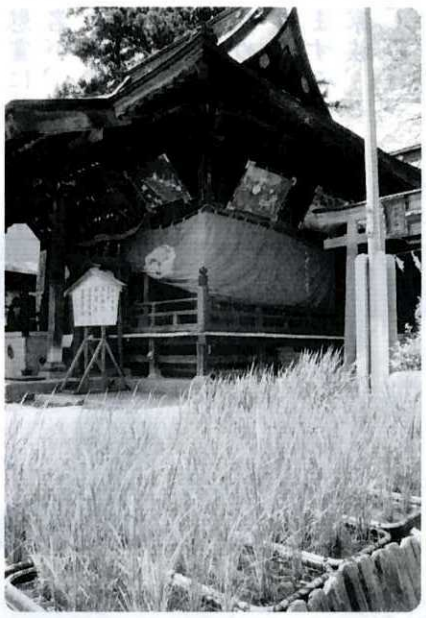
沼田古地図

書類を整理中に見つけました
興味のある方はご観覧下さい



右下の文には【大正十五年三月　堤空風】
左下には【文化乙亥十月寫之　秦勝芳】
と記されている。

神饌田



神さまのための稲田のことを神饌田といいます。収穫した和稲荒稲（にぎしね・あらしね＝精米したお米・籾のままのお米）を秋の新嘗（にいなめ）の祭りに神前にお供えします。

稲作りのわざは私たちの祖先が神様から授かった大切な営みであり、それを「斎庭稲穂の神勅（ゆにわのいなほのしんちょく）」といいます。日本の文化の根幹をなす稲作りは、わが国に今日まで脈々と継承されています。

【神社境内の神饌田】

七五三展示会　8月18、19日・9月22、23日
ご祈祷受付　衣装・写真・着付・食事会等
七五三に関するご相談ご予約承ります

榛名神社 役員名簿

代表　金子浩隆
宮司　金子由紀子
権禰宜　金子三男
権禰宜　金子隆政
権禰宜　小野里礼佳

参与
東倉内町　堀口稔夫
西倉内町　松野正一
柳町　松井完一郎
高橋場町　田島護
材木町　生方虎三郎
桜町　小川大吉
上原町　小田実
東原新町　宮田孝雄
西原新町　大竹義章
榛名町　金子敏彦
清水町　小林文彦
薄根町　関秀夫

総代
東倉内町　望田昭一
〃　森田春夫
〃　宮崎敬久
西倉内町　角田美之留
〃　雨森昭
〃　桜沢二三夫
柳町　藤井幸吉
〃　籾山泰洋
〃　住安幸男
高橋場町　星野公
〃　山崎孝次
材木町　萩原典則
〃　中澤誠
〃　塚越一貴
〃　酒井田洋一
桜町　小林昭紀
〃　中井龍三
〃　藤井章二
上原町　宮田豊二郎
〃　鷲頭正夫
東原新町　遠藤章
〃　近藤剋也
〃　星野直
西原新町　阿部等
〃　吉野政雄
〃　小池八郎
榛名町　木暮孝夫
〃　本多佐市
〃　大島芳久
清水町　栗原作太郎
〃　中村栄一郎
〃　石坂岩夫
薄根町　佐藤雅幸
〃　阿部常夫
〃　飯塚重雄
〃　佐藤彰